

監査事務局

一般会計要求総額
23,293千円
(対前年度 1.8%)

< 要求の基本的考え方 >

依然として厳しい財政環境の中、独立機関として、公正・中立な立場で監査を行い、行政の適法性、効率性及び妥当性をチェックする監査委員の役割は、その重要性を増しており、監査事務局では、監査機能の専門性・独立性を確保しながら、より一層の監査事務の充実に努め、市役所改革の推進や市民ニーズに対応した、実効性の高い監査を目指す。

(単位：千円)

そ の 他	一 主要事業一	要求額
	監査事務	17,074

● 監査機能の充実強化

平成16年度に、所管部の事業に着目し、経済性・効率性・有効性などについて、広く財政運営全般の観点から評価する行政監査的監査を導入したが、引き続きこれを充実させ、多くの事務事業の中から必要に応じて具体的な問題提起を行い、事務改善につなげていきます。

行政事務の専門化、複雑化及び新制度等へ対応し、監査の質の向上を目指すため、職員のスキルアップを目的とした研修を充実させます。

● 情報共有の推進

ホームページ「札幌市の監査」を通じて、監査結果の報告や決算審査意見など、監査に関する情報を積極的かつ速やかに提供します。また、ホームページの内容や表現を工夫し、より市民にわかりやすいものにするよう努めます。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 415

議会事務局

一般会計要求総額
1,551,783千円
(対前年度 +0.3%)

< 要求の基本的考え方 >

地方分権の進展により地方自治体の自己決定権と自己責任が拡大する中、議会における政策形成機能を充実するとともに市民に開かれた議会運営を推進する。

(単位：千円)

そ の 他	一 主要事業一	要求額
	議会運営(議会広報関係)	14,397

● 議会広報の推進

議会運営費(議会広報関係)

市民のみなさんに議会への関心と理解を深めていただくため、広報誌やインターネット等による議会広報を推進します。

事業費 14,397(20年度予算額 15,160)
主な内訳：インターネットでの会議録の検索・閲覧
2,520
市議会だより(年4回)等の広報誌 1,500
本会議のインターネット配信 500



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 1,489